

名前 年組

和菓子の奥深さ紹介

和菓子をテーマにしたイベントが7月18日、秋田市のさきがけホールで開催された。約200人が参加し、講演や実演を通じて和菓子の奥深さや楽しみ方、職人技の一端に触れた。全国和菓子協会（東京）と県和菓子協会の主催。

全国和菓子協会専務理事の藪光生さんが「登録無形文化財となった和菓子の魅力と文化」と題して講演。長い歴史を持つ生菓子について、職人がへらや布巾などをを用いて一つ一つ手作りしているとした。造形や色合いにも趣向を凝らし、四季や自然を表現することが多く、「一つのテーマでも」職人の感性や表現力によってさまざまなものができる」と語った。

生菓子には短歌や俳句、自然や歴史に由来する「菓銘」が付くのも特徴で、日本独特の文化と評価されて



ステージで小林さんが生菓子作りを実演した

いると説明。梅の花をかたどった生菓子を例に挙げ、「此の花」や「未開紅」、「咲き分け」など多くの種類があると紹介した。藪さんは、お店で気になる菓銘があったら店の人に聞いてみてほしいと呼びかけ、「それも菓子をいただく時の楽しみになるのではないか」と述べた。

あんを使った生菓子「練り切り」作りの実演も行われ、全国和菓子協会認定の優秀和菓子職・小林紀夫さんがステージで腕を振るった。季節の花々をかたどった彩り豊かな菓子が仕上がっていくと、会場からは拍手や歓声が上がった。

※【趣向を凝らし】面白みを出すために工夫すること。
※【菓銘】菓子につけられる名前。

秋田魁新報2024年7月19日付より。記事は手直ししています。

1 職人が生菓子を手作りするときに「造形や色合いにも趣向を凝らし」何を表現していますか。記事の中から5字を抜き出して書きましょう。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

2 「日本独特の文化」と評価されている「菓銘」について説明している一文をさがし、最初の5字を書きましょう。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

3 「腕を振るう」とはどのような意味ですか。適切なものを選び、番号を書きましょう。

- ① 能力や働きを十分に発揮すること
- ② 持っている力を出そうと緊張してふるえること
- ③ 張り切って腕を回すこと

4 記事の内容を効果的に伝える工夫として当てはまるものを全て選び、番号を書きましょう。

- ① 記事の最初に問題を投げかけ、読み手の興味を引き出している。
- ② 実演について、写真とともに会場の様子を最後に載せ、その場のふんい気を出している。
- ③ 和菓子の中でも特に生菓子を取り上げて説明し、具体的にイメージしやすくしている。
- ④ 和菓子と洋菓子の比較を通して、和菓子の奥深さを強調している。